

## 自然資本・生物多様性の維持と保全

<自然資本の保全・再生に対する当社の考え方>

我々の暮らしや経済は、生物多様性を基盤とする生態系から得られる恵によって支えられており、すべての企業が経営活動において自然資本に大きく依存しています。当社の事業も少なからず生態系に影響を及ぼしており、自然生態系等の環境保全ならびに生物多様性の維持・保全に十分配慮することは当社にとって重要な課題であると認識しています。

持続可能な地球環境の実現を目指し、低炭素・脱炭素化、資源循環、生物多様性保全に取り組んでまいります。

<主な取り組み>

### ■ペーパーレスの促進及び FSC 認証紙の使用

タブレット端末やプロジェクターの使用に切り替えペーパーレスを進めているほか、使用するコピー用紙は、適切な管理をされた供給源から作られた FSC 認証紙に切替えました。

### ■海洋プラスチック削減対策

海岸のゴミ拾いを行い、資源循環と生態系保全に取り組んでおります。

### ■濁水の削減と水の再利用

舗装切断時の泥水をろ過する「ウォーターリサイクル工法」を採用し、処理水は清掃に使うなど再利用をしています。

### ■再生可能エネルギーの調達

当社で使用する電力を 100%再生可能エネルギーに切り替えました。

### ■道志水源保全への寄付

横浜市民に良質な水を供給し続けるために横浜市が水源林を計画的に管理しており、その保全のために寄付を行っております。

令和 5 年 10 月 6 日  
株式会社 大山組建材  
代表取締役 大山 宏治